

# 清 流

特定非営利活動法人 杉並区保護観察協会会報

## 第 8 号

発行 2021年11月1日

発行責任者 青山 亨

編集 特定非営利活動法人

杉並区保護観察協会

### ご挨拶

会長 青山 亨

令和2年度を顧みますと、年度当初より新型コロナウイルス感染症蔓延により、事業はもとより協会内の諸会合すら開催困難な状況が続き、正に休眠を余儀なくされた一年でした。



その中でも会員皆様のご協力のお陰で、保護司会・更生保護女性会・杉並区の社会を明るくする運動には予定通りの助成金を呈上させていただきました。また広報活動として「清流」も作成配布させていただきました。会員皆様には重ね重ねお礼申し上げます。

4月には新年度を迎え、心機一転頑張らねばと覚悟を決めてスタートを切った途端の4月25日より東京には三回目の緊急事態宣言が発令され再び先行き困難な一年を迎えようとしています。しかし当会の第一目的は更生保護活動団体が夫々の目標を達成出来るよう、活動資金の助成をする事にあり、結果社会を明るくする事の一助に成ればと願っています。

会員各位のご健勝をお祈り申し上げますと同時に当協会に対して一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

### 第71回「社会を明るくする運動」

令和3年度「ひまわりフェスタ」が“社会を明るくする運動”強調月間の7月19日～21日に、杉並区役所ロビーでパネル展が開催され、観察協会は中杉通り側駐輪場で刑務製品販売を担当しました。

連日30度を超す猛暑の中、新型コロナ感染防止対策(マスク着用、体温測定、消毒等)をしながら販売しました。区役所に見えた方々や区職員の皆さんが立ち寄り、**「社会を明るくする運動」**や刑務所で作られた品物を初めて知りましたと喜んで買い求められました。コロナ禍の中、どれだけの品物を用意すればいいのか迷って少なめに準備したのですが、乾麺やサンダル、棒石鹸など早々に売り切れました。

広く地域の皆さんに刑務製品の販売を通して一人も取り残さない社会に向け、「更生保護」の大切さを知って頂けたと思います。



### 主なる事業

当協会は、その活動目的を達成するために、毎年次のような事業を行っています。

令和2年度はこの社会状況のため、縮小または中止せざるを得ない事業もありました。

#### ①助成金呈上

杉並区保護司会、杉並区更生保護女性会への社会を明るくする運動に助成金を呈上しています。

#### ②社会を明るくする運動に参加

「ひまわりフェスタ」「すぎなみフェスタ」にて刑務製品を販売しています。

#### ③各種研修会

町会の方をお誘いして、毎年刑務所訪問を行っています。

#### ④広報活動

広報誌「清流」を会員、各町会に配布しています。

—杉並区保護観察協会は更生保護団体を支援する会です。—

### NPO法人杉並区保護観察協会60周年記念式典

当協会は、昭和36年に発足以来皆様のお陰をもちまして60周年を迎えることが出来ました。盛大に式典を企画いたしました。新型コロナの感染拡大防止を考慮して下記のように実施いたしました。

日時 令和2年12月4日(金) 午前10時半開会  
場所 産業商工会館 展示室

式次第に則り、里見実行委員長の挨拶を皮切りに青山会長、ご来賓の祝辞と続き、1時間程度で終了。参加の方々と会員の皆様には記念品をお渡しいたしました。





例年ですと年に1回の施設訪問を実施いたしておりましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響で当初予定していました施設訪問が実施できませんでした。

過去7年程遡りどのような訪問内容を実施したかをご紹介します。

### 2014/2/24 甲府刑務所

大雪被害甚大という山梨県の甲府刑務所を訪問した。当日は、天候に恵まれ、まだまだ雪が溶けない割には暖かであった。杉並区内の町会長の方々に保護観察協会の目的、更生保護に対するご理解、ご支援を頂きたく施設訪問に参加して頂くこととなった。



### 2017/6/28 喜連川社会復帰促進センター

参加者34名を乗せたバスは当施設職員の集合住宅が並ぶ前を通り、庁舎に着きました。職業訓練、実習室、収容施設等は東京ドーム9倍の広さの敷地に建っていました。このセンターは構造改革特区の認定を受けて地域の社会資源を活用した。官民協働による運営で、地域の雇用も考えられているそうです。



### 2014/11/11 横須賀刑務所

日程の都合で早朝から横須賀に向けて出発。この研修は、区内の町会関係者の皆さまに当協会の目的と更生保護に対するご理解と支援を頂くことを目的に施設訪問の参加をお誘いした。参加者は36名、1時半より施設見学開始。



### 2018/7/6 小田原少年院

国内の少年院としては最も古い施設で、12歳～20歳の少年が職業能力開発指導や教科指導を受けており、多くの入所者が卒業されています。当少年院では少年の社会復帰の為に、暴力防止・家族関係・交友関係等に力を入れ、矯正指導をされています。



### 2015/10/16 千葉刑務所

日程の都合で早朝から横須賀に向けて出発。この研修は、区内の町会関係者の皆さまに当協会の目的と更生保護に対するご理解と支援を頂くことを目的に施設訪問の参加をお誘いした。参加者は36名、1時半より施設見学開始。



### 2019/7/8 愛光女子学園

「愛光学園」は都市型少年院でミッション系の女子校に間違われた事もある外観で館内は明るく清潔でプールを備え、個室は機能的に作られています。現在21名の院生が生活していますが職員は41名と行き届いた環境です。詐欺、傷害、窃盗、薬物の順で多いそうですが家族との折り合いの悪さが原因とか。心に闇やしこりをもった人達の心を溶かす様なきめ細かな教育をしている事が良く分かりました。



### 2016/7/27 川越少年刑務所

暑さを迎えた晴天の中、川越少年刑務所を訪問した。川越少年刑務所は埼玉県川越にある少年刑務所である。主に20歳未満で少年院への収容を必要としない少年受刑者、26歳未満で犯罪傾向の進んでいない受刑者を収容している。



お問い合わせ先 166-0015 杉並区成田東5-41-7  
杉並区職員会館202 更生保護サポートセンター気付  
NPO法人杉並区保護観察協会 (Tel 03-5930-9098)